

我ら 50 期 ここにあり

仕事がうまくいく人、そうでない人



どんな仕事であれ、仕事がうまくいく人はどこか魅力的で尊敬できるところがあるものです。ここでは、どんな性格の人がうまくいくか、その逆にどんな性格だとうまくいかないかという、一般的な例を挙げたいと思います。悪い例にあてはまらないように、気を付けないといけません。

うまいく① 責任感を持って仕事をする。**注意** 人任せ、人のせいにする：自分の仕事を人任せにしたり、ミスを入のせいにする人はダメな人。自分の仕事に責任を持ち、ミスをしたらちゃんと謝る、それが正しい姿勢です。

うまいく② 仕事熱心で向上心がある。**注意** やるきがない：向上心や熱意があり、学び続ける人は、仕事がうまくいきます。やる気がない人は成功しにくいです。

うまいく③ よく考えて行動する。**注意** 考えず場当たりの行動する：何も考えずに行動すると多くの人に迷惑をかけます。仕事で成功する人は、よく考えたうえでなるべく早く決断をくだします。

うまいく④ 人への思いやりがある。**注意** 自分さえよければいい：仕事は自分一人ではできません。一緒に仕事をする人たちがどうしたらやりやすいかを考えられる人は、自分の大変なときにも手を差し伸べてもらえます。

うまいく⑤ 謙虚で感謝を忘れない。**注意** 横柄で成功すると調子に乗る：「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉通り、成功を納める人ほど、謙虚で人への感謝を忘れません。成功して態度が悪くなる人は、うまくいかなくと周りに人がいなくなるでしょう。

うまいく⑥ うまいかななくても引きずらない。**注意** クヨクヨ悩み続ける：うまくいかななくても「ケセラセラ (なるようになる)」精神で、引きずらないことが大事です。人間関係の悩みも「自分に合わない人もいるよね」と、開き直れるぐらいが上手な生き方でしょう。

うまいく⑦ できないことは仲間に頼る。**注意** 完璧な人間であろうとする：能力が高い人ほど人に頼るのが下手だったりします。自分ですべてできなくても大丈夫。苦手なこと、一人ではどうにもできないことは、人にお願いできるようになりましょう。



鬼を考える⑧ ～泣いた赤鬼～ 学べること

このお話の教訓は、自分の居場所を求めること。ということです。本当は、今いる場所が自分の居場所ではない気がして、他に居場所があるのではないかと探すのです。このお話では、赤鬼は明らかに自分は他の鬼とは違うと思っています。なぜかという、鬼なのに優しく、乱暴なこともせず、人間と仲良くしてみたいと思います。そのために、何か鬼たちと一緒にいても、自分は違っておもってしまって、あまり居心地がよくないのです。いったい自分は、鬼とも違うし、人間とも違うし、何者なんだろうと、いつも思っていました。そして、思い切って人間と友達になってみようと思いますが、怖がられて、うまくいかないのです。そんな時に青鬼君がやってきて、青鬼君が自分は鬼に嫌われても、赤鬼の希望をかなえようとしてくれます。そして、その作戦はうまくいって、人間たちと仲良くなることができそうですが、そのうちに何か物足りないことに気がつきました。それから、後になってやっと、青鬼君の自分への優しさと、青鬼君は自分をちゃんと認めてくれていて、自分を友達だと思ってくれていたことに気付くのです。自分は、他の鬼とは少し違うけれども、「それでもやっぱり鬼なんだ。」ということに気付きました。例えば、私たちも時には自分が何者なのか、わからなくなることがあります。人は、周りの人の中で、自分はいったい何者なんだろうかと考えながら、段々と自分をつくっていくのではないのでしょうか？



みんなは一人のために

朝、教室を開けてくれる。移動教室の時にみんなを早く出して施錠してくれる。黒板を毎時間きれいにし、黒板消しもブィーンっていわしてくれる。日直日誌に授業の内容やクラスの様子を文字数いっぱい記録してくれる。4時間目が終わったらすぐエプロンと三角巾をつけて給食を取りにいく。配布物を取りに行き配る呼びかけをして、明日の連絡をメモしてみんなに伝えてくれる。学代が元気に号令をかけてくれる。1日のリズムをつくる班日直の活動がしっかりできていますか？さあ、他にあなたはみんなのために何をしてくれますか。